

立教大学学術推進特別重点資金 (立教 S F R)

大学院学生研究

2015年度研究成果報告書

研究科名	立教大学大学院ビジネスデザイン 研究科 ビジネスデザイン 専攻		
研究代表者 (2016年3月現在のものを記入)	在籍研究科・専攻・学年	氏名	
	ビジネスデザイン研究科、ビジネスデザイン専攻・博士後期・一年	夏藝	印
指導教員	所属・職名	氏名	
	ビジネスデザイン研究科 准教授	青淵 正幸	印
自然・人文・社会の別	自然 ・ 人文 ・ <input type="checkbox"/> 社会	個人・共同の別	<input type="checkbox"/> 個人 ・ 共同 名
研究課題	日本と中国の学校経営における意思決定に関する研究		
研究組織 (研究代表者・共同研究者) ※2016年3月現在のものを記入	在籍研究科・専攻・学年	氏名	
	ビジネスデザイン研究科、ビジネスデザイン専攻・博士後期・一年	夏藝	
研究期間	2015 年度		
研究経費 (1円単位)	(支出金額) 200,000円 / (採択金額) 200,000円		

研究の概要 (200~300字で記入、図・グラフ等は使用しないこと。)

昨今、私立高等教育機関では市場（就学人口、社会ニーズ、社会経済環境など）を的確に捉えた経営者の経営能力（経営判断と資金力）が要求されるようになった。しかしながら、学校経営に関する研究は十分ではない。本 SFR 研究では、日中の先行研究及び私立高等教育機関経営の成功失敗例の分析を通じて、特に意思決定の異同について論じ、日中間わず、経営者による意思決定は学校経営を大いに影響していることが指摘でき、そして、意思決定に影響する原因は社会環境、資金力及び学校設置目的などであるとも言えよう。最後に、中国の場合は私学助成がないため、経営面はさらに自由であるため、学校の行方は経営者の意思決定に直接関連していると言える。

キーワード (研究内容をよく表しているものを3項目以内で記入。)

[学校経営] [意思決定] [私立高等教育機関]

研究成果の概要 (図・グラフ等は使用しないこと。)**研究目的**

日本ではこの先の少子化によって、学校経営が難しい時代となる。中国では私立高等教育機関の設立の増加が期待される反面、人口抑制政策の影響による少子化問題で、すでに教育機関の淘汰が始まっている。

この故、学校経営はいかに重要であることが言うまでもない。学校経営に影響する要因の一つである経営者の経営能力及び資金力は期待される。よって、経営者による意思決定のメカニズムを研究することもまた、重要であると考えられる。本研究では、企業経営ではなく学校経営を対象としているが、今後ますますニーズが高まるであろう中国における私立高等教育機関の経営意思決定に多くの視座を提供することが期待される。特に私立高等教育機関における経営行動を整理することで、学校経営における意思決定のポイントの発見につながり、日中私立学校経営の異同につながることを期待される。

私立高等教育機関の経営意思決定に多くの視座を提供することが期待される。特に私立高等教育機関における経営行動を整理することで、学校経営における意思決定のポイントの発見につながり、日中私立学校経営の異同につながることを期待される。

本研究の位置付け

本研究は、研究の範囲が拡張傾向にある学校経営研究の中でも、経営意思決定に焦点を当てている。意思決定は経営者における重要な職務であるが、学校経営の場面においてそのメカニズムは名確認されていない。事例研究やインタビューを通じて、その一端を明らかにするのが、本研究の位置づけである。

そして、教育学の視点を加味しながら経営管理学の視点から学校経営について分析し、論じる点が独創的である。

研究方法

本研究は先行研究のレビューと事例研究の2本立てを予定している。はじめに、学校経営に関する先行研究のレビューを行う。特に経営意思決定の手法に主眼を置く。

まずは学問領域を限定せずに、学校の運営を含む学校経営を扱った著書や論文の整理とレビューを行う。この研究を通じて、学校経営に関するフレームワークを構築する。

続いて、学校経営の成功事例・失敗事例の調査を行う。今回は、中国の実施地域を湖南省に絞り、より精密で的確な情報と内容を入手し、より深い内容の調査ができるように努めた。調査対象者に事前連絡した上で、対象者の所属する職場、学校等公共の場所、あるいは喫茶店などの私的な場所で面談し、問答形式あるいは談話形式で行った。また相手の了解を得てその場での録音をした。

成功事例はジャーナル等で取り扱われることが多いため、事例の収集は比較的容易であるが、多くの失敗事例は語られることなく封印されているものと思われる。失敗事例の抽出は、ヒアリング調査が中心となる。事例研究やヒアリング調査を丹念に行い、学校経営に関する意思決定のポイントについて探求する。

研究成果の概要 つづき**中国私立高等教育機関経営の成功失敗要因考察**

調査などによると、共通の成功要因が、①設置者の思想と能力（資質と理念） ②教育の質と学部の特徴（優れた教師陣、高い就職率） ③資金・施設の確保（資金調達・運用能力） ④内部管理の規範化・科学性（重大事項の有無に関連する）にまとめられる。このほかに、法律順守、発展の合わせた経営方針の策定と政府の政策の有効的な活用、学歴認定校であるなども成功の要因だと指摘している。

失敗の要因とは、①経営者（設置者）の不適格 ②資金不足と資金調達 ③経営決断の誤りと運営の失敗 ④違法行為による重大事件の発生 ⑤学校の特徴が無い、教育の質の低下 ⑥学生募集の失敗 ⑦内部管理の不適切などによる緊急事故の発生 ⑧学校の地理的条件、が挙げられる。

結論として、私立高等教育機関の持続的に発展するためには、下記のことが挙げられる。

(1) 政策の変更に対応できる人脈関係と体制作り。

(2) 学校発展と政策変更に応じて、資金の補充ができる投資或は融資ルートの確保と開拓。

(3) 常に市場ニーズに適合する人材の育成と優秀な経営・管理陣及び教師の招聘。

(4) 日頃から法律を遵守し、無事故の対策をたて、予防を心がける。

(5) 市場を十分に調査・把握することによって、計画的に、長期の経営目標をたて、粘り強く着実に短期目標へ向かって一步一步進める。

本研究では、具体的な事例調査と取材によって、最終的には予想外の展開が得られたと考える。

中国の学校経営における意思決定

以上の成功失敗要因考察から、中国の学校経営の成功には一番な要因が設置者の思想と能力（資質と理念）だと考えられる。そして、失敗の要因とは、経営者（設置者）の不適格及び経営決断の誤りと運営の失敗などが挙げられた。要するに、学校経営における意思決定は経営者（設置者）の思想と能力によって違い、その違いは経営決断に影響している。誤る決断は経営の失敗を及ぼすことになると言える。

しかし、経営者の思想と能力以外に、いかに政策の変更に対応できる人脈関係を持つことが学校の持続的な発展の第一な必要条件になっていることも明確である。すなわち、経営者の意思決定に影響する要因は資金状況、市場ニーズの他に私立高等教育機関に関する政策の変動が大きいと指摘できる。

残りの課題

今回の中国の学校経営に関する調査を中心的に行っていたが、日本の学校経営に関する調査などはまだ足りないので、研究成果としては不十分である。残りの課題として、日本の学校経営における意思決定に関する調査と分析である。それを行ってから、最終的に、日本と中国の比較を行いながら、私立学校経営における意思決定に影響する共通な要因及び異なる原因を究明し、学校経営の成功と失敗は意思決定との関係も明かにしたいと考える。

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

予 定

- ① ・ 日本教育行政学会創立 50 周年記念誌論文投稿、査読中
論文タイトル：中国の私立高等教育行政の特徴と動向
- ・ 立教大学大学院ビジネスデザイン研究科後期課程 DBA ジャーナルに投稿予定
- ④ ・ 経営行動研究学会全国大会もしくは部会で報告する予定
- ・ 日本マネジメント学会全国大会もしくは部会で報告する予定